

平成26年7月10日

保健給食課

電話 0742-34-4830

食物アレルギー研修の実施について

奈良市では、全教職員を対象にした食物アレルギー研修を実施します。

1. 目的

他市で起きた食物アレルギー事故を発端として、子どもの命を守るための体制づくりが急務となっています。

また、食物アレルギーを持っている児童・生徒が増加している現状を踏まえ、「救える命を救う」ために、学校現場の全教職員に食物アレルギーの正しい知識の習得やアナフィラキシーに適切な対応ができるよう研修会を実施します。

2. 日時 第1回 平成26年7月30日（水）午後 2時
第2回 平成26年8月 5日（火）午前10時
第3回 平成26年8月22日（金）午後 2時

3. 場所 第1～3回 奈良市役所 中央棟6階 正庁

4. 受講対象者

奈良市立小学校・中学校・高等学校70校の全教職員 1,736名

5. 講師 第1回 大阪府立呼吸器アレルギー医療センター
小児科副部長 吉田之範先生

- 第2・3回 天理よろづ相談所病院
小児科部長（兼）小児アレルギーセンター長
南部光彦先生

6. 内容 食物アレルギーに対する危機感を持ち、緊急時に適切な対応ができるよう正しい知識を習得するための研修を実施します。

また、アレルギー発症時に教職員が迅速な対応の有効手段である「エピペン注射」を打つことに対して、ためらいをなくすために模擬体験も含めた研修を実施します。

7. 予算、参加（申し込み）方法・費用

予算 講師報酬、資料購入等500千円

8. 今までの状況、今後のスケジュールなど

昨年度は、奈良市学校保健会主催で教職員、学校医、PTAを対象に1回実施しました。全教職員対象の研修を今後も継続して研修を実施していきます。

※アドレナリン自己注射薬（商品名：エピペン）

エピペンは、アナフィラキシーがあらわれたときに使用し、医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤（アドレナリン自己注射薬）です。

エピペンは、使用前後に注射針が見えず安全性の向上した自己注射薬で、注射器には、アナフィラキシーがあらわれたときの治療に用いられるアドレナリンの薬液と注射針が内蔵されており、オレンジ色の先端を太ももの前外側に強く押し付けるだけで、バネの力により、一定量（約0.3mL）の薬液が筋肉内に注射される仕組みになっています。

※アナフィラキシー

アナフィラキシーは、主にアレルギーを食べる（飲む）、吸い込むなどをしたことで発症し、その後、極めて短い時間のうちに全身性にアレルギー症状が出る反応です。